

表 1 活動提案づくり (私案) Ver.3

<川部会>活動目標		流域治水を軸に	山・海・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、	他部会や外郭団体を巻き込みつつ、	行政や市民団体などが参加したくなるような部会を創造する。
テーマ別の活動目標	①河道に関する課題 (本川・支川)	点や線から面・高次元へ 防災・川づくり・河川管理のエコロジーとの融合 シナジー (相乗) 効果 エコシステム・マネージメント	上流から海までを繋ぐ役割として ・ <u>生物群集からみた河川流域</u> 1) 植物分布、関係、機能、作用 希少種、外来種 2) 動物分布、関係、機能、作用 希少種、外来種 ・ <u>物理環境からみた河川流域</u> 3) 河川営力・地形環境・地史 4) 水文諸量分布 (地下水含む) ・ <u>水循環からみた河川流域</u> 5) 自然水系網+人工水系網 6) 自然物+人工物 (施設) 7) 土地利用・計画・規制 ・ <u>地球環境からみた河川流域</u> 8) 変動と制御 (順応管理)	上下流共通の課題である土砂問題や生き物の棲みやすい川づくりについて、 1) 特に土砂問題の解決 (流域・河川・海域管理) 土砂生産量バランス 土砂流出量バランス 土砂堆積量バランス 生物の生育・生息環境 (物理環境、相互関係) 2) 生き物の棲みやすい川づくり <u>場所 動物 植物 生態系</u> 上流部： 中流部： 下流部： 自然再生 3) 水量・水質・底質・他の物質	情報共有および意見交換を行う。 ・これまでの成果・中間実績 ・残る課題、新たな課題 ・解決対応が長期に亘る課題 定量的・定性的検討 経験思考と演繹思考 客観的指標
	②流域に関する課題	流域の課題を防災面・社会面から整理し、 ・ハードとソフト 1) 防災面からの課題 ・決壊・溢水・氾濫 2) 社会面からの課題 ・産業・生産活動 ・都市機能・活動、消費生活 ・農林漁業地域・山里生活	・自然資本、自然資源  上記 7) に同じ +規範・慣行	行政や市民団体などが参画できる場を創出する。	かわまちづくりに関与する行政や関係機関から矢作川流域内で取り組んでいるプロジェクトについて、情報共有する。  ・SDGs (持続可能な開発目標) 低炭素社会構築、ネイチャーポジティブ・自然共生 (運動)、汚染物質負荷の予防・除去、啓発
	③交流・共有に関する課題	・面白さ・魅力・共感性 ・情報過多の移ろい易さ ・情報整理 (優先度等)	川を通して人と人の繋がりを広げるため、本会がプラットフォームとして機能することを目指し、 プラットフォーム：足場環境・結節機能・情報受発信・人の集散場 年数回開催する川部会でこの機能の保持は現時点で難しい。どうすると可能になるのか？ 他部会とどう調整するのか？	外部団体 (生態系ネットワーク協議会等) との連携を深める。 どの様な団体等があるのか。 治水関係 利水関係 環境関係：生態系ネットワーク協議会 総合的	⇔現在の構成メンバー 治水関係 利水関係 環境関係 総合的

・解決手法・活動内容についての提案、テーマ別活動目標の期間の設定

①について、会議形式の情報共有・話し合いだけでなく、各主要ポイント (下記 a~c) を対象にした FW・エクスカージョンを多く行う。

a.川部会構成メンバー等が挙げた課題 (新しく共有した課題も含めて) の場所・施設等 (保全と対策、取り組み活動)

b.矢作川の特性・防災・自然災害伝承地・産業・水利用・歴史文化を彷彿とする景観・次世代に伝えたい河川・水辺の景観

c.河川整備計画・プロジェクトの主要箇所・検討場所、多自然川づくり箇所・事後、水文観測・モニタリング地点

本川モデル：例・・・上流、中流、下流

支川モデル：例・・・家下川、籠川水系、巴川水系、乙川水系など

方法 1案 WG+FW・・・半日行程、1日行程 (午前と午後)、2日行程 (山部会と同様)

2案 FW 単独・・・半日行程、1日行程

3案 イベント+FW 1日行程 (午前か午後)

4案 現地 FW レポーターを分担し取材後画像等で報告し話し合う。(利点：少人数で経済的、短期で多箇所可能。欠点：体験共有がやや曖昧)

5案 1~4案の組み合わせ。

特記 流域治水の取り組み、土砂問題等については、近隣・他河川での検討事例も引き続き参考資料による勉強や見学を重ねる。

(例えば庄内川の流域治水取り組み、既設・渋川ダムの排砂対策、施工中・設案ダムの排砂計画など)

②について、会議の機能、つまり各回で話し合う課題、目標、成果 (指針) を明確に示し、該当者の出席も勧誘すれば、出席者数が自ずと増えると思う。

③について、上流域で、3つの地域部会を同日開催する。午前：各部会、午後：合同部会+上流住民参加

下流域で、3つの地域部会を同日開催する。午前：各部会、午後：合同部会+下流住民参加 \*佐久島で似たことを1度行ったことがある。

中流域ではこれまでもよく開催しているので、当面は今まで通りとしてもよいと思う。